

自己評価の結果について 平成30年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にした教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・キリスト教に根ざしたカトリック幼稚園として、子ども達一人一人を大切にし、毎日の祈りを通して、神様と、自然と、多くの友達や先生に出会い、楽しく生活する中で、共に生きる喜びを見いだすことができるよう努めている。また異年齢縦割りの集団生活の中で、自分のことだけでなく、友達を思いやり、助け合うことを学びながら、日々の生活の“あたりまえ”の素晴らしさに気づき、感謝する心を育てる。・モンテッソーリ教育の考えから、子どもの発達の道筋を通して、教育的に価値のある環境を計画的に構成している。・園児自らが、主体的に事物や他者、自然現象、社会事象などの環境に関わり、体験を通して生きる力を育てるよう、カトリックの教育理念に基づいたカリキュラムで保育計画を立てて実践している。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援 その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が健康で安全な生活を送ることができるよう、園内に危険な箇所が無いかどうか、常に観察している。 ・消防署の指導により保育室ストーブ転倒防止のため、壁との固定を行った。 ・保育者だけではなく、職員が協力して園内の清掃を徹底し、室温・換気などに気を配り、感染症の広がりを防いでいる。 ・保育者が一人だけで園児の姿を見取るのではなく、複数の教師と連携を持ち、意見をクロスさせたり、保護者からも情報を得たりして、その園児について、多面的に理解して継続的に見守る。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質 向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の内面を理解し、保育計画・実践・省察・評価する専門性ととも、天使幼稚園の教職員としての良識やマナーを大切にする。 ・園児と一緒に作り出す生活に責任を持ち、喜びを感じて心から楽しむ。 ・幼稚園が教育力を十分に発揮できるよう、一人一人の教師の資質・能力の向上とともに、組織として協力・協働性を高める。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する適切・的確・適時な情報の発信として保育参観や母の会を開いている。また、保育のねらい・園児の生活の様子・保護者への思い等を、園便り・ブログ・懇談会で伝え、保護者が感じている子育ての不安や悩みを受け止め、一緒に考えていけるよう努めている。 ・今年度は、ブログの更新が思うように進まなかったのもので、今後の課題とする。 ・園への要望等、保護者のニーズには丁寧に耳を傾け、園の教育方針や事情を理解して頂きながら検討し、対応している。

<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児をとりまく地域の自然や社会で、豊かな生活経験ができるよう、また、園生活で培われたものが、地域の自然や社会における生活に生かされるよう、幼稚園以外の楽しい園外保育を行っている ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、小学校の先生からお話を伺う機会を持っている。また、卒園する園児が小学校にスムーズに移行できるよう、必要な連携をとっている。 ・北11条教会のバザーに、園児・保護者とも参加し、地域の方々と交流している。また、毎年卒園生も楽しみにしてくれている。 ・平日保育日に年間5回の園庭開放を行い、地域の未就園児が園児と一緒に遊んだり、保護者に園内を案内し見学して頂いている。
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本モンテッソーリ協会・北海道支部講演会、モンテッソーリ短期実践研修会に参加し、京都モンテッソーリ教師養成コース委員長、及び、国際モンテッソーリ教師トレーニングセンター所長より、教育理論・実践を学ぶことが出来た。また、保育者間の共通理解を深めるため、園内研修を行っているが、今後も回数を増やしていきたい。 ・北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、旭川カトリック学園研修、札幌市教育センター研修、特別支援研修、東区幼稚園研修等に参加し、学ぶことが出来た。今後も保育の質を高め、総合的指導をより充実していきたいよう努力していきたい。
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者は毎年自己点検を行い、子どものために、どのような教育が重要であるか、質の良い保育をめざすよう努力する。 ・保護者を代表して、役員の方々に自己評価結果を公表し、学校関係者評価を頂き、結果はホームページで公開する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・保育者一人一人の自己評価によって、子どものために、どのような教育をしているかを改めて考え、課題を発見する時間を得ることができた。 ・今後も、教職員全体で課題を共有し、お互いの保育の質の向上を図り、子ども達の未来のために研鑽を積む。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・園児・保護者・教職員にとって、安全な環境であるために、玄関電気施錠を行い、外部からの侵入者を防ぎ、玄関・1階ベランダに防犯カメラを設置し、画像を保存している。・警察や札幌私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。・消防法を踏まえ、施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練（火事・地震）を行い、園児避難誘導を行った。・災害時のため、全園児分のアルミブランケット、保存用ビスコ・飲料水を購入した。今後も子ども達を守る災害時対策を検討していく。・緊急時に備え、園内にAEDを設置している。・園児や教職員の健康診断を行っている。・伝染病が発生しないように衛生管理を行い、病気の流行が予測される場合は、速やかに園医や保健所に相談し、指導を受けて対処し、家庭に通知の必要があれば手紙を配付している。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none">・発達に気になるところがある園児、特別な支援を要する園児は、家庭や関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、職員間で共通理解の上、協力し合い援助している。また、発達と学びの連続性を確保するため、小学校との引き継ぎ会等で連携を図っている。
園に対する保護者の満足度の把握	<ul style="list-style-type: none">・母の会、懇談会、行事お手伝い時等に保護者の方からいただくお話や、悩み・不安、要望・意見などを謙虚に受け止め、誠実に、また、柔軟に対応する。・この度の学校関係者評価の結果を真摯に受け止め、カトリック幼稚園・モンテッソーリ教育に求められている期待に応えられるよう努力する。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・異年齢縦割りクラスの中で、自然と年長者を敬う年少者を思いやる精神を身につけられる。
- ・モンテッソーリ教育を習得した保育者の指導のもと、日々のお仕事を通じて子ども達が各々好きなものや得意なものをみつけ、集中力・自立心等を養える。

- ・カトリックの精神に基づき日々のお祈りを通して、何に対しても感謝の気持ちが自然と身につく。
- ・清潔で安全な保育環境である。園児の発達や生活を通し、楽しい雰囲気の中でカトリック幼稚園としての教育理念に基づき、モンテッソーリ教育の考えに沿った保育を行っている。
- ・幼稚園の畑で野菜を育て、食に対する興味や関心を深められる。
- ・毎日のお祈りや縦割り保育で、日々の喜びや思いやりの心、自然への感謝の念が育まれていると思う。
- ・園の行事やモンテッソーリのお仕事の内容も、子供の成長や習熟度に合わせ計画的に実践されている。
- ・行事は打ち合わせを密に行い確実に準備し、子ども達が安全により楽しめるよう取り組んでいた。

2. 保育の在り方、幼児への対応

- ・園内はいつも整理整頓が行き届いており、モンテッソーリ教育を行いやすく、また戻しやすい環境が出来ている。
- ・保育者だけでなく、職員全体で園内の清掃を徹底している。季節に応じてディスプレイを変えていて、園児は楽しく過ごせている。
- ・園庭開放日を設け、地域の未就園児、通園時の兄弟の交流の場となるように支援している。
- ・縦割り保育で思いやりの心が育ち、先生の日々の保育で、一人一人が神様により作られた尊い存在として、互いを大切にする子供に成長している。
- ・自分で考え工夫する姿を見守りながら、自力で解決できるよう言葉掛けを指導している。
- ・長期休みは預かり保育の取り組みがある。
- ・園児の個性を見極め、その情報を教員達で共有しているためフォローが手厚い。
- ・園児への保育姿勢は丁寧であり、教員は園児の言動を尊重し、園児は教員を信頼する良い関係が出来ているため、教員と園児の距離感が適切である。

3. 保育者としての資質

- ・一人の大人として、幼児の手本となるような振る舞いをしている。保育の質を高めるべく積極的に講演会や研修会に参加して実践するとともに、保護者と情報を共有し、家庭との連携を高める努力をしている。
- ・年度途中で退職者がでたが、保育への支障、保護者内での混乱をきたさぬよう配慮し、速やかに対応をしていた。以上より、専門職として向上心をもって前向きに取り組んでいると評価する。
- ・園児個人を理解し、安心して教職員の方々に預ける事ができる。教職員の方が研修等に参加し、より資質・能力の向上を図っている。
- ・教職員の中途退職が続くことで、保育のかたよりや教職員の負担が生じている。又、園児の不安や混乱が生じている。
- ・園児の自発的な行動を尊重し、側で見守りながら成長を共に喜んでくれていると感じる。
- ・モンテッソーリ教具について、園児や保護者に丁寧に紹介してくれる場があり、教育力が十分に発揮されている。

4. 保護者への対応および家庭との連携

- ・「園便り」による文書と登降園時や保育参観、母の会等保護者との交流もしくは電話連絡等で直接保護者と保育者のコミュニケーションが容易である。
- ・「クラスだより」があると更に月毎の園児の様子や保育者が求める点を把握出来て理想ではあるが、行事への参加を通して連携がとりやすい状況にある。また、保護者のニーズ、相談、悩みに耳を傾け、それぞれの事情にあった対応を検討・改善に努めている。
- ・母の会や保育参観で、先生・友達との関わり等知ることが出来る。また、個人懇談で子育ての不安・悩みを相談出来ることが心強い
- ・園便り、各懇親会、ブログで概ね情報を得ることが出来ている。個別に担任の先生がフォローして下さり、不安な点も解消出来る。
- ・苦情・要望は役員を通して役員会で審議され、よく検討されている。

5. 地域社会との連携

- ・バザーは先生・保護者・教会・地域の方々と交流できる貴重な良い機会となっており、子ども達も買い物などを楽しみながら、地域と関わることの出来る大切な行事となっている。
- ・年長児とその母へのCAPプログラムを行い、地域への安全、防犯意識を高めている。
- ・季節に応じた園外保育は、地域環境を生かしながら自然や動植物に触れる経験をする事が出来る貴重な機会となっており、多くの体験ができるよう、今後も継続してほしい行事である。
- ・平日園庭開放を行うことで、地域の未就園児と保護者の方と関わる機会を持っている。
- ・教会のバザーは教会・地域の方々と交流しながら楽しめる行動となっている。
- ・円山動物園、いちご狩り等の園外保育は、自然・動植物と触れる良い経験となっている。子供にとって楽しみな行動であるので、今後も充実を図ってほしい。
- ・園児を取り巻く環境の中、豊かな生活経験ができるよう、学年に応じた園外保育を計画し積極的にやっている。またこの機会が、園児の食・意欲・共感等の向上につながっている。
- ・東区幼保小連携推進協議会に参加し、小学校入学に向けた情報を得て、学校生活に向けた支援に努めている。
- ・北11条教会のバザーに園児・保護者とも参加し、地域の方々と交流の場とし、卒園生も参加・協力の場となり楽しみにしている。
- ・平日園庭開放日の年間5回の園庭開放を行い、地域の未就園児が園児と一緒に遊んだり、保護者も園内案内を通し見学の機会を図っている。

6. 情報公開

- ・保育の現状等の情報を、保護者会や園便りでの公開に努めている。クラス便りがあると、更に園児の様子や保育者の思いを知ることができ、園と家庭での連携が深まると考えるが、ブログでお仕事の様子や遊び等が紹介されており、積極的に情報公開している。
- ・自己評価、関係者評価をホームページに公開しており、保育者と保護者間での保育のあり方や課題を共通認識する事ができる。
- ・ブログに沢山の写真が掲載されており、日頃の子どもの様子を知ることができる。

- ・作品展では子供が日々どのようなお仕事をしているか、進級するとどのようなお仕事に発展していくのが理解できた。また、各教室にいた先生が作品製作時や日頃の様子を説明してくださり、園生活がよくわかった。
- ・園便りでは限られたスペースながら、保育の現状を的確に伝えている。
- ・自己評価結果の公開により、今後の具体的な取り組みを知り、園児を最優先に考える幼稚園側の柔軟な対応に好感が持てる。

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見・ご感想は、本園の今後のために有効に活用させていただきます。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。